

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	養老町における循環のみちの実現												
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	養老町												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	56	A	56	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	処理場における長寿命化計画実施率を0%(H28)から100%(H32)に増加させる。 処理場における長寿命化計画実施率 改築工事実施済施設数(箇所) / 改築工事が必要な施設数(箇所)	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																						
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
下水道事業	A07-001	下水道	一般	養老町	直接	養老町	終末処 理場	改築	中部浄化センター長寿命 化対策 (長寿命化・処理 場)	設備長寿命化対策及び改築更 新	養老町	■	■	■	■	■	27		策定済			
		長寿命化																				
	A07-002	下水道	一般	養老町	直接	養老町	—	—	効率的な事業実施のため の検討	検討資料作成 一式	養老町	■	■	■	■	■	29		—			
											小計						56					
											合計						56					

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

養老町役場産業建設部水道課にて実施。

事後評価の実施時期

令和4年2月。

公表の方法

町ホームページにて公表。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

処理場における長寿命化計画に基づき、改築工事実施済施設数（箇所）／改築工事が必要な施設数（箇所）＝5箇所／5箇所（100%）計画的に施設の更新をすることにより健全に維持することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特になし。

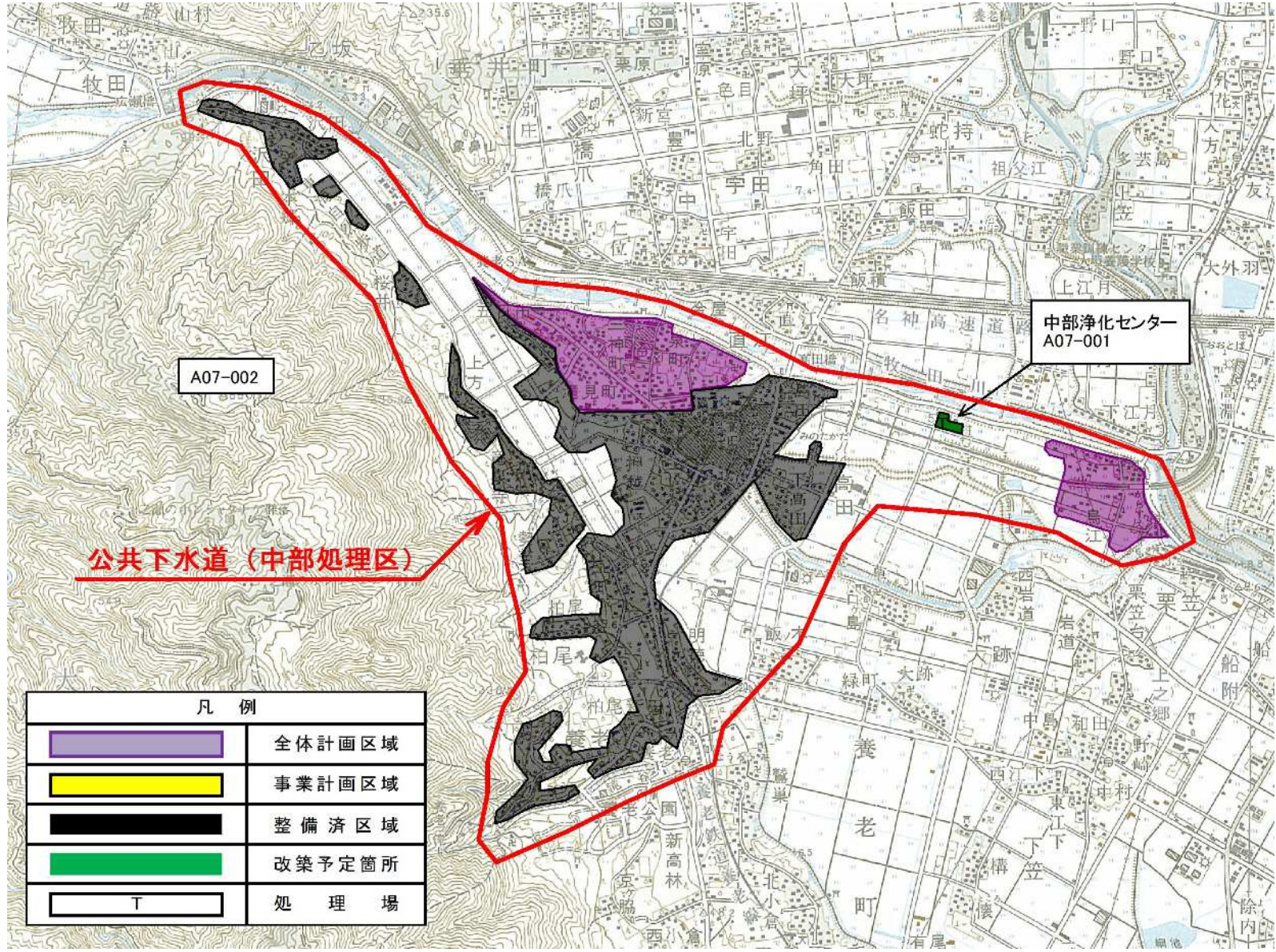
○特記事項（今後の方針等）

下水道施設の健全な維持管理のために長寿命化計画の見直しを行い、計画的に施設の更新を進める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	養老町における循環のみちの実現		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (令和2年度)	(5年間)	交付対象 養老町



凡 例	
	全体計画区域
	事業計画区域
	整備済区域
	改築予定箇所
	処 理 場